

芸術教室

2023年11月15日（水）に芸術教室を開催しました。昌賢学園まえばしホール小ホールにて、劇団群馬中芸による「絵本芝居パナンペナンペむかしがたりーアイヌのウウェペケレよりー」を鑑賞しました。



生徒の感想より

- ・ストーリーがとても面白くて、見ていてとても楽しかったです。こういう行事でないとなかなか見ることができないと思うので、見られて良かったです。演技もすごくて、犬がいないはずなのにいるように見えて、本当にすごいと思いました。
- ・歌と素晴らしい演技で、とても楽しく見ることができました。悲しいときや嬉しいときなど、抑揚のある声や動きなどがとてもよく、劇にどんどん引き込まれて行って、最後まで真剣に見てしまいました。
- ・さまざまな曲が使われていて、キャラクターのイメージを抽象的に捉えられたので、演劇に入り込むことができました。また機会があれば他の演劇も見たい。
- ・実際に物はなくてもそこにあるかのように演じられていて、とても引き込まれました。
- ・演者の方の演技力がとても高く、パナンペとペナンペが犬を追いかけるところでは、そこに本当に犬がいるかのように感じた。アイヌのお話ということで、少し難しいのかと思ったが、そんなことはなく、ところどころにアイヌの文化などが入ってくる感じだったのと、絵本芝居で後ろに絵が書いてあるので、わかりやすく、とてもおもしろかった。
- ・大きな紙芝居のようなものを用いる演劇は見たことがなかったので、とても斬新でした。一つ一つの小道具にも細部まで工夫がされていて、世界観を感じ取ることができました。
- ・アイヌ民族についてあまり知らないまま劇を見ていたけれど、劇を見たことによって、アイヌ民族への関心が深まったと思う。
- ・アイヌ民族にはもともと興味があり、今回の公演はすごく勉強になりました。公演後のお話でも触れられていて、アイヌ民族について理解が深まりました。また、劇もとても面白く、個性のあるキャラクター達で楽しかったです。
- ・アイヌの昔話はあまり聞いたことがなく、どんな物語だろうとわくわくしながら観劇しました。日本の昔話と少し似ているところもあったけれど違うところもあり、アイヌ民族の価値観や人間性を感じることができました。今回の劇と物語を通し、少しだけアイヌの文化に触れられた気がして、とても充実した時間を過ごすことができました。
- ・アイヌの人々は自分がアイヌであったことを隠して生活していると聞いてびっくりしました。「アイヌ」という言葉には「人間」という意味があるにもかかわらず、自分を偽らなければならなくて、それはすごく残酷なことだと感じました。もっとひとりひとりが「これが自分です」と胸を張って過ごしていける世界になったらと思います。そのために、もっとたくさんの方々々にアイヌに触れ合う機会ができればいいのと思いました。